

調査対象物質	分析法フローチャート	備 考
<p>[3] アルキル硫酸（アルキル基の炭素数が8、9、10、12、14、16又は18のもの）及びその塩類</p>	<p>【水質】</p> <pre> graph LR A["水質試料 50mL 予めメタノール 50mLが入った 試料瓶に入れ、混和"] --> B["攪拌 超音波 5分間"] B --> C["希釈 抽出固相のリザーバーに、 精製水 5mL、試料水 10mL、精製水 5mLの順 で加える。"] C --> D["固相抽出 Oasis HLB Plus 225mg 3mL/分"] D --> E["洗浄 精製水 10mL さらに、固相先端部を アセトリルで洗浄"] E --> F["溶出 アセトリル 10mL"] F --> G["定容 アセトリル 10mL"] G --> H["LC/MS/MS-SRM- ESI-ネガティブ"] </pre> <p>「令和5年度化学物質分析法開発調査報告書」に準拠</p>	<p>分析原理：LC/MS/MS-SRM-ESI-ネガティブ</p> <p>検出下限値： 【水質】（ng/L）</p> <p>[3-1] 71 [3-2] 40 [3-3] 69 [3-4] 81 [3-5] 35 [3-6] 48 [3-7] 25</p> <p>分析条件： 機器 LC：Shimadzu LC-40 MS：Shimadzu LCMS-8060 NX カラム Cadenza CD-C18 150mm×3mm、3µm</p>